

報告書

A01-3 骨格筋の発達・維持・萎縮における負荷依存性の分子基盤の理解

研究代表者・出張者：瀬原 淳子（京都大学 ウイルス・再生医科学研究所・教授）

派遣期間： 2018年7月8日～7月21日

派遣先： Institut Pasteur, France, Zebrafish Disease Model Meeting, Imperial college

瀬原は、パリにある Pasteur 研究所の Miria Richetti 博士と共同研究を行っている。本年2月から2ヶ月間、京大に Richetti 博士を招聘し、宇宙における骨格筋・骨格筋幹細胞の変化、それにとともなうミトコンドリアの変化についてディスカッションし、共同研究方針を決めた。今回の派遣は、彼らの実験結果について、ディスカッションをすることが目的であった。実際に研究を行っているテクニシャンの方にもお会いすることができ、有益であった。



また以前より、瀬原研究室で学位を取得した若手が留学するなど、研究交流を行ってきた Shahrugim Tajbakhsh 博士とも、骨格筋幹細胞の増殖・分化・老化などについて話し合った。



さらに、宇宙における骨格筋萎縮のメカニズムに関してセミナーをさせていただき、有益なアドバイスや、海外研究の情報を得ることができた。さらに、Shahrugim さんのもとに留学した西邨大吾博士ともマウス骨格筋幹細胞の *in vivo* imaging に関して共同研究しており、その内容や論文発表についてディスカッションした。左は彼らとのスナップ。

瀬原はこの機会を利用して、オランダの Leiden 大学で開催された Zebrafish Disease Model Meeting にも出席し、情報収集を行った。



左は、ライデン大学に留学していた島田康人先生(写真左端)の案内で、学会後、地元のレストランにて研究交流した時のもの。班員の川上浩一先生(写真奥左側)は学会のオーガナイザーの一人。

ロンドンにも足を伸ばし、Imperial College の学生であり、瀬原研究室にサマースチューデントとして滞在し研究活動に参加した Xiao Min Liu ともディスカッションした。

以上、忙しくも充実した海外派遣となった。